

進路通信

廿日市中学校

第14号

10月27日(火)

発行責任者 吉本邦治

英語で言ってみよう！

オワタ

「オワタ」は、失敗して「終わった」「もうダメだ…」なんてときに使う言葉ですね。こんなときは“screw”（ねじ）を使って、“*I'm screwed.*”「やっちゃった」という表現がピッタリです。八方ふさがりで「やばい」という感じのニュアンスにもなります。“*I'm so screwed.*”と言えば「めっちゃやばい」という感じです。やばすぎて「もうどうでもよくなった」というときには、“*I'm done!*” “*It's over!*”と言えば、「終わった」という気持ちを表せます。

エモい

「エモい」は、「懐かしさ」や「切なさ」のニュアンスを含みながら、「何ともいえない感情」を表すときに使う言葉ですね。そもそも「エモい」の「エモ」は“emotional”の略ですから、そのまま“emotional”（感情的）を使って表現できます。懐かしさを表したいのであれば、“emotional”を“nostalgic”（懐かしい）に代えればいいのです。例えば、“*This song makes me feel emotional.*”「この歌を聴くと感情的になる」“*This song makes me feel nostalgic.*”「この歌を聴くと懐かしい気持ちになる」つまり、「この歌はエモい！」ということですね。

それな

「それな」は、「確かに」「だよね」「わかる～」というような、相手の言ったことに対して同意、共感を表すときに使う言葉ですね。“*That's right.*” “*That's true.*”は相手の言ったことに同意するときによく使う表現です。「それな」のニュアンスにより近づけるのであれば、シンプルに“*Right*” “*True*”というと、よりくだけた感じの表現になります。“*Exactly*” “*Totally*”というと、「まさにその通りだよね！」という、より同意したニュアンスになります。例えば、“*He is so cool!*”「彼がかっこいい！」 “*Totally*” 「それな」という感じです。

「テストのための勉強」「受験のための勉強」と思うと、なかなかやる気になれませんね。でも勉強は、自分の人生を豊かにするためにやっているのですから、楽しむための勉強に変えていけば、やる気や興味もわいてくると思います。「英語では何と言うんだろう？」と考えることも勉強の一つです。ただ、今回紹介した「オワタ」「エモい」「それな」などのイマドキ？の言葉は、日本語としては残念な使い方でもあります。「英語では？」と考えるのと同じように、「正しい使い方は？」と考えることも、大切な勉強ですよ。

